

地方独立行政法人福岡市立病院機構 令和7年度 年度計画

目次

- 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
 - 1 医療サービス
 - (1) 良質な医療の実践
 - (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進
 - (3) 災害・感染症等への適切な対応
 - 2 患者サービス
 - 3 医療の質の向上
 - (1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修
 - (2) 信頼される医療の実践
 - (3) 情報発信

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
 - 1 効率的かつ適正な運営
 - (1) 運営管理体制の充実
 - (2) 先端技術の活用推進等による業務改善
 - 2 職場環境の向上に向けた取組
 - 3 法令遵守と公平性・透明性の確保

- 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置
 - 1 持続可能な経営基盤の確立
 - (1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化
 - (2) 施設・設備の適正管理
 - 2 収支改善
 - (1) 収益確保
 - (2) 費用節減

- 第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置
福岡市民病院のあり方検討への対応

- 第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画
 - 1 予算（令和7年度）
 - 2 収支計画（令和7年度）
 - 3 資金計画（令和7年度）

第6 短期借入金の限度額

- 1 限度額
- 2 想定される短期借入金の発生事由

第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

第8 剰余金の使途

第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

- 1 施設及び設備に関する計画（令和7年度）
- 2 人事に関する計画

※本文中の丸数字については、第5期中期計画に対応した番号を記載

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 医療サービス

(1) 良質な医療の実践

福岡市立こども病院及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、医療環境等の変化を踏まえ、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。

ア 福岡市立こども病院

- ① 第一種協定指定医療機関として、引き続き、福岡県における新興感染症等に係る小児救急医療の提供を行う。

福岡県の地域周産期母子医療センターとして、地域の分娩施設等からの母体搬送・新生児搬送を引き続き受け入れ、高度な周産期医療を提供するとともに、「福岡県母体搬送コーディネーター事業」の中核病院として、地域における周産期救急搬送体制の一翼を担う。

福岡県等が実施する「小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業」に引き続き参加し、地域の小児在宅医療の推進に努める。

たけのこ外来（循環器科）において、患者の成長に合わせた移行期医療を適切に提供する。また、こどもアレルギーセンターにおいて、P A E（小児アレルギーエデュケーター）を中心に、アレルギー疾患に係る成人移行支援の取組を開始する。

フォーミュラリー^{※1}の運用及び定期的な評価・更新を実施するとともに、小児疾患に適応を有するバイオシミラー医薬品^{※2}を積極的に採用し、エビデンスと経済性等に基づく質の高い小児薬物治療を推進する。

^{※1} 各々の医療機関等において、医学・薬学的妥当性や経済性等を踏まえて作成された医薬品の使用方針。

^{※2} 既に新薬として承認された先行バイオ医薬品と同等／同質の品質、安全性及び有効性を有する医薬品として、異なる製造販売業者により開発された医薬品。

- ② 臨床研究や治験等に積極的に取り組み、小児・周産期医療の発展や新薬の開発に貢献する。

【目標値】

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
1人1日当たり入院単価（円）	111,393	106,100
1日当たり入院患者数（人） （病床利用率（%））※	199.9 (83.7)	207.0 (86.6)
新規入院患者数（人）	7,760	7,670
手術件数（件）	2,732	2,690
救急搬送件数（件）	1,723	1,500
P I C U（小児集中治療室）利用率（%）	91.5	95.5
N I C U（新生児集中治療室）利用率（%）	97.7	97.0

※病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法（年延入院患者数÷年延病床数×100）に基づき算出

イ 福岡市民病院

- ① 福岡県保健医療計画、福岡県地域医療構想等において求められる、がん、心疾患、脳卒中に係る難易度の高い鏡視下手術やカテーテル治療等、高度専門医療の更なる充実を図る。また、F F R c t*などA Iを用いたプログラム医療機器など新技術の活用を積極的に行い、より安全で質の高い医療の提供に取り組む。オンライン診療を活用することでH A E（遺伝性血管性浮腫）などの希少疾患を持つ患者への対応についても充実を図る。

*F F R c tとはC T画像を解析することで、冠動脈の狭窄と血流を同時に評価できる検査法

- ② 入院を必要とする重症度の高い救急患者の受入れを円滑に行うため、救急受入れに係る体制や受入病床の運用を見直すなど、高度救急医療の更なる充実を図る。

【目標値】

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
1人1日当たり入院単価（円）	78,480	75,500
1日当たり入院患者数（人） （病床利用率（%））※	155.6 (76.3)	175.0 (85.8)
新規入院患者数（人）	4,533	4,914
手術件数（件）	3,873	3,870
救急搬送件数（件）	3,774	3,540
救急搬送患者の入院率（%）	44.1	43.0

※病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法（年延入院患者数÷年延病床数×100）に基づき算出

(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進

ア 福岡市立こども病院

- ① 地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携・協力体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を推進するとともに、「こども病院カンファレンス」等のオープンカンファレンスを開催し、地域の医療従事者への教育研修等を通じた地域医療への貢献に引き続き取り組む。
- ② 福岡県小児等在宅医療推進事業の拠点病院として、院内における退院支援や小児在宅医療を担う訪問看護ステーションの職員等を対象とした多職種研修を行うなど、引き続き地域における小児等医療提供ネットワーク構築に参加し、地域の小児在宅医療の推進に努める。

地域医療連携室ニュースレターを発行し、病院の診療体制・診療内容の紹介、地域医療連携に関する情報、カンファレンス・研修会の案内等、登録医療機関への情報発信に努める。

【目標値】

指標		令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
新規紹介患者数（人）		8,645	8,400
紹介率（%）		97.2	95.0
逆紹介率（%）		80.7	80.0
オープンカンファレンス	回数（回）	40	30
	参加者数 ※1（人）	1,075	800
登録医療機関数（施設）		289	285
退院支援計画件数 ※2（件）		217	210

※1 院外参加者数のみ

※2 退院支援計画書作成件数

イ 福岡市民病院

- ① 地域医療支援病院として、地域の医療機関からの紹介患者及び救急患者の円滑な受入れ、ホームページ・SNS（ソーシャルネットワークサービス）などを活用した積極的な情報発信や、クリニック等への定期的な訪問活動等、病病・病診連携を積極的に推進する。

また、「福岡東部オープンカンファレンス」を開催するなど地域の医療従事者への教育研修等を積極的に行い、地域医療への貢献に取り組む。

- ③ 地域包括ケアシステムにおいて中心的な役割を果たすため、回復期・慢性期病院や地域の在宅医療・介護を担う医療機関・施設等との積極的な連携・支援に取り組むとともに、緊急時の円滑な入院受入れを行う。

【目標値】

指標		令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
新規紹介患者数（人）		4,613	5,060
紹介率（%）		114.4	110.0
逆紹介率（%）		191.2	180.0
オープンカンファレンス	回数（回）	53	50
	参加者数 ※1（人）	432	415
登録医療機関数（施設）		328	335
退院調整件数 ※2（件）		1,381	1,400

※1 院外参加者数のみ

※2 入退院支援加算1・介護支援連携指導料の合計件数

(3) 災害・感染症等への適切な対応

- 平時から防災マニュアルやBCP（事業継続計画）の定期的な見直しを行うとともに、非常用発電設備及び備蓄物品等の点検を徹底して行い、災害発生時の万全な対応に備える。
- 市立病院としての役割を果たすため、福岡県及び福岡市がそれぞれ策定した感染症予防計画を始め、福岡市が策定した地域防災計画、院内のBCP（事業継続計画）等に基づく適切な対応が行えるよう体制を整えるとともに、院内防災マニュアルの周知や防災訓練の実施等を通じ、職員の防災意識を高め

る。

- 他の自治体等において大規模な災害等が発生した場合は、関係機関や被災した医療機関等との連携を図り、患者受入れや医療従事者の派遣など、迅速かつ的確に医療救護活動や人的・物的支援に努める。

ア 福岡市立こども病院

- 災害等の発生時やその他の緊急時においては、医療の継続、福岡市が策定した地域防災計画に基づいた医療救護活動等が的確に行えるよう、関係機関との連携も含めた災害対応訓練を実施するとともに、外部研修に職員を積極的に派遣し、災害時対応能力を持った職員の育成と危機管理能力の向上を図る。
- 新興感染症等の感染拡大時における小児感染症医療の提供体制を確保するため、PPE（個人用防護具）の備蓄及び保管体制を強化するとともに、院内感染対策委員会等を中心に、新興感染症発生時におけるBCP（事業継続計画）の更新を行うなど、「平時」における有事に備えた取組を行う。

【目標値】

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
訓練開催数（回）	6	5
災害時参集訓練参加率（%）	98.3	90.0

イ 福岡市民病院

- 他の自治体において大規模災害などが発生した際は、関係機関や被災した医療機関等との連携を図るなど、的確に医療救護活動の支援に努める。
- 福岡県感染症予防計画と福岡市感染症予防計画に基づき、新興感染症発生早期から第二種感染症指定医療機関として福岡市における対策の先導的かつ中核的な役割を果たす。

【目標値】

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
訓練開催数（回）	5	5
災害時参集訓練参加率（%）	99.9	90.0

2 患者サービス

ア 福岡市立こども病院

- ① 退院時アンケートについて、具体的な記載例を掲載するなど改善を行い、よりの確なニーズの把握及び迅速な対応に努めるとともに、ICT（情報通信技術）の積極的な活用やボランティア団体等との連携などにより、効率的かつ効果的な患者サービスの提供に努め、患者やその家族の満足度の向上を図る。
- ② 患者家族の医療等の相談について、相談支援窓口において適切に対応する。
- ③ 院内の接遇・療養環境委員会を中心に、関係部署とも協議しながら、院内環

境を整備し、患者・家族の療養環境改善を図る。

【目標値】

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)	90.2	89.0

※対象者・・・入院患者

※評価項目・・・接遇、療養環境、食事内容等

イ 福岡市民病院

- ① 職員の接遇及び療養環境等に関する患者満足度調査、外来待ち時間調査、入院患者への食事アンケート等を引き続き実施し、患者のニーズを的確に把握して改善を図るとともに、患者へのフィードバックを適切に行う。また、ICT（情報通信技術）を活用した患者説明等を行うことで、効率的で質の高い患者サービスの提供に努める。
- ② 患者・家族等からの医療・福祉に関する相談等について、患者サポート相談窓口を中心に適切に対応する。
- ③ 病院施設の老朽化が進んでいるため、病棟内の療養環境改善や保全に努める。

【目標値】

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
患者満足度調査における平均評価点数 (100点満点)	91.4	91.0

※対象者・・・入院患者

※評価項目・・・接遇、療養環境、食事内容、診療内容等

3 医療の質の向上

(1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修

ア 福岡市立こども病院

- ① 適正な人員配置及び優れた知識と専門性を有する人材の計画的な確保に努め、医療水準の維持・向上を図る。
意欲ある研修医等の確保を目的として、SNS（ソーシャルネットワークサービス）等を活用し、カンファレンスや研修会、教育プログラム等の情報発信に努める。
看護師については、意欲ある人材を確保するため、病院説明会及び見学会を開催するとともに、専従教育担当職員等による看護職員等への研修を重点的に実施するなど、職員の資質向上に努める。
- ② eラーニングシステム等のICT（情報通信技術）を活用し、情報セキュリティ・人権・接遇研修のほか、全職員を対象とした医療の質の向上に資する研修を実施するなど、院内研修の充実を図るとともに、外部の専門研修等を活用し、職員の資質向上を図る。
- ③ 看護師の専門性や能力の向上を図るため、認定看護師等資格取得支援制度

の活用を促し、有資格者の増加に努めるとともに、看護師以外の専門職についても、告示研修の受講支援等を行い、専門知識・技術の向上及びタスクシェアリングやタスクシフティングの更なる推進に努める。

【目標値】 (単位：%)

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
医療の質向上研修受講率	95.3	90.0

イ 福岡市民病院

- ① 適正な人員配置及び優れた知識と専門性を有する人材の計画的な確保に努める。

SNS（ソーシャルネットワークサービス）などを活用し看護部の教育体制や取組に関する情報発信を行い、優れた人材の確保に努める。

- ② eラーニングシステムを活用し情報セキュリティや人権、接遇研修のほか、全職員を対象とした医療の質向上に資する研修等を実施するなど、院内研修の充実を図るとともに、外部の専門研修等も活用しながら職員の資質向上を図る。
- ③ 看護部においては、認定看護師等資格取得支援制度を活用した積極的な資格取得を奨励し、専門職としての知識・技術の向上を図る。また、看護師の特定行為研修修了者の効果的な配置と活用によるタスクシェアリングやタスクシフティングを推進する。さらに、コメディカル、事務部においても資格取得などを通して知識・技術の向上を図る。

【目標値】 (単位：%)

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
医療の質向上研修受講率	99.6	90.0

(2) 信頼される医療の実践

ア 福岡市立こども病院

- ① 感染対策室、院内感染対策委員会、ICT（感染制御チーム）及びAST（抗菌薬適正使用支援チーム）の連携により、多角的な視点で感染対策を実践し、医療関連感染の低減を図る。

また、医療安全管理室において、インシデントレポートの分析と現場へのフィードバックを通して TeamSTEPPS® (Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety) の基本スキルの浸透及びツールの活用による迅速な情報共有の強化を図るとともに、eラーニング等を活用した職員研修を実施し、安全で質の高い医療提供体制の構築を図る。

- ② クリニカルパスの活用の推進により、ケアの標準化、均質化を図り、医療の質の向上に努めるとともに、治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセントやインフォームド・アセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。

- ③ 令和3年5月に認定を受けた病院機能評価で明らかとなった課題に対する業務改善に継続して取り組むとともに、NST（栄養サポートチーム）などの多職種によるチーム医療を推進し、安全・安心な医療を提供する。

【目標値】

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
医療安全等の研修開催数（回）	45	35
医療安全に関するレポート 報告件数 ※1（件）	1,047	1,200
手指消毒平均回数 ※2（回）	8.3	9.0
クリニカルパス使用率（%）	45.3	45.5

※1 年間のインシデント報告（診療・ケアにおいて、本来のあるべき姿からはずれた行為や事態の発生を意味し、患者や医療従事者に影響を及ぼすに至らなかったものも含む。）の件数が病床数の5倍となることが、医療安全の透明性確保のための一般的な目安とされている。（病床数：福岡市立こども病院 239床）

※2 一般病棟における入院患者1人1日当たりの手指消毒回数

イ 福岡市民病院

- ① 院内感染防止対策を徹底するとともに、感染対策部門及び「I C I C（感染対策情報発信センター）」を中心とした研修会や訓練、地域の医療機関等との合同カンファレンスの実施を通じて、地域における感染対策の質の向上に取り組む。また、医療安全管理者を中心とした教育研修の実施や、他施設との医療安全相互チェックを継続するなど、医療安全対策の徹底を図る。
- ② クリニカルパスを積極的に活用し医療ケアの標準化、質の安定化、より分かりやすいインフォームド・コンセントの徹底やホームページへの公開による治療内容の可視化等、患者中心の医療を実践する。
- ③ 令和7年度に公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価を受審し、医療の質の確保・向上を図るとともに、多職種によるチーム医療を推進し、安全・安心な医療を提供する。

【目標値】

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
医療安全等の研修開催数（回）	25	25
医療安全に関するレポート 報告件数 ※（件）	1,576	1,450
入院患者の転倒・転落発生率（%）	3.4	3.3
クリニカルパス使用率（%）	33.6	37.0

※年間のインシデント報告（診療・ケアにおいて、本来のあるべき姿からはずれた行為や事態の発生を意味し、患者や医療従事者に影響を及ぼすに至らなかったものも含む。）の件数が病床数の5倍となることが、医療安全の透明性確保のための一般的な目安とされている。（病床数：福岡市民病院 204床）

(3) 情報発信

ア 福岡市立こども病院

- 診療内容、医療サービスや「病院指標（独自指標を含む）」に示される治療実績等について、広報誌やホームページ、SNS（ソーシャルネットワークサービス）等を活用して分かりやすい情報発信に取り組み、患者が安心して受診できるよう、市民に開かれた病院づくりに努める。
- 地域の子育て世代や、元気な高齢者を対象に、多世代の交流や医療を通じて子育て・孫育てを実現することを目的に、CGG（Child Grandchild Good-Care）プログラムを引き続き実施する。
- こどもアレルギーセンターにおいて、医療従事者や保護者、幼稚園・保育園・学校関係者向けの講演会を開催し、小児アレルギー疾患に関する知識の向上を図る。

【目標値】

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
病院ホームページのアクセス数（件）	373,238	350,000
広報誌発行回数（回）	4	4

イ 福岡市民病院

- ホームページや広報誌、SNS（ソーシャルネットワークサービス）等を活用して、病院の機能や役割を広く情報発信し、市民に開かれた病院づくりに努める。
- 地域住民の健康意識の向上を図るため、健康づくりのための啓発活動に取り組む。

【目標値】

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
病院ホームページのアクセス数（件）	129,010	130,000
広報誌発行回数（回）	4	4

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 効率的かつ適正な運営

(1) 運営管理体制の充実

- ① 各病院長のリーダーシップの下、医療情勢の変化や患者ニーズ等を迅速かつ的確に捉えて対応するとともに、理事会などにおける外部理事等の知見も積極的に取り入れながら、市立病院機構全体として、長期的な視点を踏まえ、一体的な運

営管理を行う。

- ② 法人全体に求められる専門性を更に高めるとともに、管理監督者による組織のマネジメントを強化するため、研修を実施するとともに、テーマごとの職場内研修等の実施により、効果的なOJT (On the Job Training) に繋げる。

また、市立病院の運営に必要なノウハウ等が蓄積・継続されるよう、事務のマニュアル化や業務の可視化を図り、職員のキャリアプランを踏まえた適材適所の人事配置に努め、法人全体の更なる機能強化に取り組む。

(2) 先端技術の活用推進等による業務改善

- ① 医療の質の向上及び医療従事者の負担軽減、患者の利便性の向上に資する医療情報システムや病気の診断を支援するプログラム医療機器など、AIを含めた先端技術の活用に取り組む。
- ② 先端技術の活用推進においては、厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等を踏まえ、ランサムウェア等のサイバー攻撃に対するセキュリティ対策を実施するとともに、職員へのセキュリティ教育を実施する。

2 職場環境の向上に向けた取組

- ① 働き方改革の考え方を踏まえ、各病院ともに医師を始めとする各職種のタスクシェアリング及びタスクシフティングによる業務の効率化を推進し、人員配置や業務の見直し等、職員の業務負担の軽減に努め、ワーク・ライフ・バランスの確保に取り組む。

「心の健康づくり計画」に基づき、メンタルヘルス対策に積極的に取り組み、心身ともに健康で働きやすい環境づくりを推進し、職員のメンタルサポートに努める。また、各病院ともにストレスチェックの実施結果を基に、職場のストレス要因の解消に努め、職員が安心して働き続けることができるよう職員の健康保持に取り組む。

- ② 職員が安心して働き続けることができるよう、福利厚生 of 更なる充実に取り組むとともに、育児・介護等の支援制度の周知徹底はもとより、研修や会議等を通じて、所属長を始め職員の意識改革を図る。
- ③ ハラスメントの防止に向けて、全職員対象のハラスメント研修の実施、課長級以上を対象にマネジメント強化を目的とした研修の実施、職員アンケートの実施及び相談窓口の周知徹底を図るとともに、ストレスチェックにより、ハラスメントの実態をより早く把握することでその対策を行い、働きやすい職場環境づくりに取り組む。
- ④ 医師や管理職を対象とした人事評価制度を引き続き実施し、職員のモチベーションの維持・向上を図るとともに、社会情勢の変化等を踏まえつつ、職員の意欲を引き出すよう、人事・給与制度の充実に取り組む。

【目標値】

(単位：%)

指標	市立病院機構全体	
	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値

新採・転入職員とのメンタルヘルス面談実施率	98.7	100.0
ハラスメント研修受講率	99.0	100.0
課長級以上マネジメント研修受講率	—	100.0

3 法令遵守と公平性・透明性の確保

- ① 関係法令や内部規定の遵守等コンプライアンスを徹底するため、管理監督者を対象としたコンプライアンス研修等を実施することにより、組織としてのチェック機能を強化し、不適切な事務処理や不祥事を未然に防止する。
監事（弁護士、公認会計士）及び会計監査人による監査等の実施により、内部統制を適正に維持し、市立病院として適正な病院運営を行う。
- ② 個人情報の保護及び情報公開に関しては、個人情報保護法を始め、福岡市の関係条例、当法人の情報セキュリティポリシー等に基づき、適切に対応するとともに、研修等を通じて職員の教育を徹底するほか、カルテ等の診療情報に関しては、診療録開示委員会を開催して開示の可否を決定する。

【目標値】

（単位：％）

指標	市立病院機構全体	
	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
コンプライアンス研修受講率	98.5	100.0
情報セキュリティ研修受講率	96.2	100.0

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 持続可能な経営基盤の確立

(1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化

令和6年12月に法人内に設置した法人戦略会議において、経営アドバイザーを活用し、各病院の収支の分析を行い、収支改善に向けた課題を洗い出すとともに、積極的に改善策を実行することで経営基盤の確立を図る。

また、地方独立行政法人法に基づく運営費負担金の趣旨を踏まえ、市立病院としての役割に応じた政策的医療を提供するとともに、自律的な運営に努める。

ア 福岡市立こども病院

毎週開催の執行部会議、毎月開催の運営会議において、医療環境の変化や病院の経営状況を踏まえ、取り組むべき課題を明確にした上で、収益の確保及び費用節減に取り組むとともに、月次決算の実施等経営に関する情報を迅速に把握し、経営分析や他病院との比較・分析を行うなど、効率的な病院経営を行う。

【目標値】

(単位：%)

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
経常収支比率	100.3	97.9
医業収支比率	86.1	85.0

イ 福岡市民病院

市立病院として求められる高度専門、高度救急医療を提供し、経営基盤の安定化に向けて重症度、医療・看護必要度を維持しながら、紹介及び救急患者受入れによる新入院患者数の確保や、収益改善に努める。

【目標値】

(単位：%)

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
経常収支比率	95.7	96.4
医業収支比率	79.2	83.9

(2) 施設・設備の適正管理

施設・設備については、計画的に維持補修を行い、建築物の長寿命化と、設備機器の適正な保守管理に努める。

また、施設・設備の整備や更新については、計画的に行い投資の平準化を図るとともに、設備機器の選定に際しては、診療機能を損なうことなく、可能な限り省エネルギー化に資するよう配慮する。

福岡市立こども病院においては、PFI事業を活用した計画的な維持管理により、施設・設備の長寿命化と適正な保守管理に努めるとともに、高潮浸水対策として院内3か所に止水板を設置する。

また、PFI事業の期間満了(令和12年度)を見据え、事業の検証を行い、次期病院運営におけるPFIの手法のあり方を検討する。

福岡市民病院においては、施設・設備について、あり方検討の進捗を踏まえ、計画的な維持補修と適正な保守管理に努める。

令和7年度は修繕計画に基づき、直流電源装置や構内交換機・情報通信設備の更新を行う。

2 収支改善

(1) 収益確保

ア 福岡市立こども病院

- ① 外来診察室の拡充や循環器及び手術・集中治療センターを中心に診療体制の更なる充実に努めるとともに、病床再編により病床の効率的な稼働を図る。
地域の医療機関との連携推進による紹介患者の受入れ強化や救急搬送の積極的受け入れなど、新規入院患者数の増加に努める。
- ② 診療報酬に関する的確な情報収集に取り組むとともに、施設基準管理システム等を活用し、適切な施設基準の取得及びその管理・運用に努める。
保険診療検討ワーキングチームを中心に、査定内容の分析・対策立案等を行い、診療報酬請求業務の更なる精度向上に努める。
医事課職員やMSW(医療ソーシャルワーカー)による患者相談の充実等により、医療費の未収金発生防止に努めるとともに、回収困難事案については、法律事務所への業務委託によって確実な回収を継続して行う。

【目標値】*再掲

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
1人1日当たり入院単価(円)*	111,393	106,100
1人1日当たり外来単価(円)	11,279	12,200
1日当たり入院患者数(人)* (病床利用率(%))※*	199.9 (83.7)	207.0 (86.6)
新規入院患者数(人)*	7,760	7,670
平均在院日数(日)	8.4	9.9
1日当たり外来患者数(人)	406.2	390.0
手術件数(件)*	2,732	2,690
救急搬送件数(件)*	1,723	1,500

※病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法(年延入院患者数÷年延病床数×100)に基づき算出

イ 福岡市民病院

- ① 診療体制の充実等による高度専門医療の提供に取り組むとともに、効率的な病床管理や高額医療機器の稼働率向上等に努める。
また、地域の医療機関との連携や救急搬送の受入を強化しつつ、毎日の病床管理ミーティングにて入院患者の入院期間が適切になるように調整し病床稼働率の向上に努め、収益の最大化を図る。
- ② 診療報酬改定等の医療環境の変化に的確に対応して適切な施設基準の取得及びその管理・運用を行う。
また、診療報酬請求に係る精度を高めるようチェック体制を更に強化するとともに、医療費の未収金発生防止や確実な回収に努めるなど、安定的な収益の確保に努める。

【目標値】＊再掲

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
1人1日当たり入院単価(円)＊	78,480	75,500
1人1日当たり外来単価(円)	26,756	28,000
1日当たり入院患者数(人)＊ (病床利用率(%))※＊	155.6 (76.3)	175.0 (85.8)
新規入院患者数(人)＊	4,533	4,914
平均在院日数(日)	11.6	12.0
1日当たり外来患者数(人)	211.5	210.0
手術件数(件)＊	3,873	3,870
救急搬送件数(件)＊	3,774	3,540

※病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法(年延入院患者数÷年延病床数×100)に基づき算出

(2) 費用節減

ア 福岡市立こども病院

- ① 医療の質や医療安全の確保、患者へのサービス、職員の労働環境等に十分配慮した上で、職員の適正配置を行い、給与費比率の適正化に努める。
- ② 診療材料や医薬品等の調達に関し、SPD(医療材料物流管理)事業者やコンサルタントと共同して、分析及びそれに基づく価格交渉の徹底、契約手法や委託業務内容の見直し、ジェネリック医薬品の使用拡大等を行うとともに、各病院の診療材料の調達を一本化し、スケールメリットを活かした契約等を行い、費用の節減を図る。
- ③ 省エネルギー委員会にて適切な運用を検討し、ポスター等を通じて職員等への啓発を行うなど、院内の省エネルギーに関する活動を推進し、費用節減を図る。

【目標値】

(単位：%)

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
給与費対医業収益比率	62.1	66.2
材料費対医業収益比率	20.5	20.4
うち薬品費対医業収益比率	8.0	6.7
うち診療材料費対医業収益比率	12.3	13.4
委託費対医業収益比率	10.7	11.4
ジェネリック医薬品導入率 ※	85.1	85.0

※数量ベース

イ 福岡市民病院

- ① 医療の質や医療安全の確保、患者へのサービス及び職員の労働環境等に十分配慮した上で、職員の適正配置を行い、給与費比率の適正化に努める。
- ② 診療材料・医薬品の調達に関し、SPD（医療材料物流管理）事業者やコンサルタントと共同してこども病院も含め法人全体での分析を行い、それに基づく材料選定・集約化を行うとともに、価格交渉を徹底する。また、医薬品に関しては、あわせてジェネリック医薬品の使用拡大等を行い費用の節減を図る。委託料等その他の経費についても必要性や内容の見直しを行い、経費節減に努める。
- ③ 省エネルギー推進委員会にて、定期的なパトロール及び協議を行いながら、職員等への啓発活動を進める。また、院内照明のLED化に向けた取組を開始する。

【目標値】

(単位：%)

指標	令和5年度 実績値	令和7年度 目標値
給与費対医業収益比率	63.8	61.9
材料費対医業収益比率	33.0	32.9
うち薬品費対医業収益比率	11.9	9.9
うち診療材料費対医業収益比率	21.0	22.8
委託費対医業収益比率	8.6	9.1
ジェネリック医薬品導入率 ※	89.1	89.1

※数量ベース

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

福岡市民病院のあり方検討への対応

将来的な市民病院のあり方に関する検討結果等を踏まえながら、福岡県保健医療計画、福岡県地域医療構想等において求められる高度専門医療、高度救急医療を提供するとともに、福岡市の医療施策として必要な感染症医療等の診療機能の充実に取り組む。

その一方で、経営の効率化に積極的に取り組み、現在の医療資源を最大限有効活用して、収支の改善に努める。

第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1 予算（令和7年度）

（単位：百万円）

区 分		金 額
収入		
営業収益		17,937
医業収益		15,785
運営費負担金		1,952
補助金収益		98
寄附金収益		12
受託収入		90
営業外収益		131
運営費負担金		3
その他営業外収益		128
資本収入		68
長期借入金		-
運営費負担金		46
その他資本収入		22
その他の収入		-
計		18,136
支出		
営業費用		17,224
医業費用		17,007
給与費		10,081
材料費		4,012
経費		2,825
研究研修費		89
一般管理費		217
給与費		118
経費		99
営業外費用		7
資本支出		580
建設改良費		580
償還金		-
その他の支出		0
計		17,811

（注1）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているもので、端数において合計とは一致しないものがある。

（注2）期間中の診療報酬の改定及び物価の変動は考慮していない。

[人件費の見積り]

期間中総額 10,199 百万円を支出する。なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

[運営費負担金の繰出基準等]

高度・小児医療等の不採算経費、救急医療の確保に要する経費等については、毎年度総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じた考え方により算出する。建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金等については、経常費助成のための運営費負担金とする。

2 収支計画（令和7年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収益の部	18,177
営業収益	18,046
医業収益	15,785
運営費負担金収益	1,952
補助金等収益	98
寄附金収益	12
資産見返負債戻入	109
受託収入	90
営業外収益	131
運営費負担金収益	3
その他営業外収益	128
臨時利益	-
費用の部	18,678
営業費用	18,671
医業費用	18,360
給与費	10,183
材料費	4,012
経費	2,829
減価償却費	1,245
資産減耗費	2
研究研修費	89
一般管理費	224
資産に係る控除対象外消費税等償却	87
営業外費用	7
臨時損失	0
純利益	▲501
総利益	▲501

（注）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

3 資金計画（令和7年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
資金収入	25,161
業務活動による収入	18,068
診療業務による収入	15,785
運営費負担金による収入	1,954
その他の業務活動による収入	328
投資活動による収入	68
運営費負担金による収入	46
その他の投資活動による収入	22
財務活動による収入	-
長期借入れによる収入	-
前事業年度からの繰越金	7,025
資金支出	25,161
業務活動による支出	17,231
給与費支出	10,198
材料費支出	4,012
その他の業務活動による支出	3,021
投資活動による支出	456
有形固定資産の取得による支出	456
その他の投資活動による支出	0
財務活動による支出	124
長期借入金の返済による支出	-
移行前地方債償還債務の償還による支出	-
その他の財務活動による支出	124
翌事業年度への繰越金	7,350

（注）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

第6 短期借入金の限度額

1 限度額

2,000 百万円

2 想定される短期借入金の発生事由

ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応

イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応

第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし

第8 剰余金の使途

決算において剰余金が生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実等に充てる。

第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画（令和7年度）

（単位：百万円）

施設及び設備の内容	予定額	財源
病院施設、医療機器等整備	456	前中期目標期間繰越積立金等

2 人事に関する計画

人事評価制度の改善に引き続き取り組むとともに、教育・研修体制の充実や職場環境向上に向けたハラスメント防止等施策の推進により、職員のモチベーションの維持・向上を図る。

また、適材適所を基本とした柔軟な人事配置を行うとともに、有期職員の活用を積極的に行い、効果的・効率的な組織運営体制の構築を図る。